

平成23年度

私立学校実務者研修会

「指導と評価」研修会（東日本）

実施案内

主催 財団法人日本私学教育研究所
後援 日本私立中学高等学校連合会

— はじめに —

次の10年間を見据えた小学校・中学校・高等学校の学習指導要領が発表されました。これまでの「ゆとり教育」から「確かな学力」へと、大きな方向の変更が特徴であります。また、OECDのPISAテスト等の結果から、これからの新しい学力に対応する学習指導の在り方が求められ、その対応も緊急の課題です。さらに、「児童生徒の評価の在り方について報告書」および「児童生徒指導要録」が発表され、学習指導と評価の在り方を慎重に検討しなければならない時期でもあります。これらに対応し、すでに各私立学校は建学の精神にもとづく特色や自主性をいかした教育課程の編成作業に入れ、移行措置等の対応を開始されている学校も多々ある時期であります。

今回の「指導と評価研修会」では、まず最初に文部科学省第5期中央教育審議会の副会長として「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について（答申）」、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校、学習指導要領」、「児童生徒の評価の在り方について報告書」および「児童生徒指導要録」等をまとめられた教育課程の専門家であられる梶田叡一先生に、「新学習指導要領の改訂と私学の教育課程に対する期待」をご講演をいただき、私学の教育課程編成の方向性をお示しいたします。

その後の質疑応答では、教育課程編成で頭を悩ませている学校から質問を予めいただき、その質問を整理してまとめて文科省としての回答をご準備いただき、この質問の回答を当日ご発表いただきます。なお、当日、加えてのご質問もできる様にいたします。

これらの講演・質疑応答を受け、テーマ別研究協議では、当日検討するテーマを発表いたしますので、協議するテーマを選択していただき、協議および情報交換いたします。

なお、東日本と西日本会場は同一内容であり、会場名により参加地区を限定するものではなく、ご都合の良い日程でご参加いただけます。

会 期 平成23年11月12日（土）

会 場 九段センタービルL B 2階 東京都千代田区九段北4-1-7

※会場が当初予定していた神奈川県私学会館から上記の九段センタービルに変更になっていますのでご注意ください。

募 集 人 員 80名

参加対象者 教務関係教員（私立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校）

基本日程

	10:00	10:30	12:00	13:00	14:30	15:00	16:45	17:00
11月12日 (土)	受 付	開 会 式	研修1－講演 新学習指導要領の改訂と私学の 教育課程に対する期待(仮題)	昼 食	研修2－質疑応答 新学習指導要領と教育課程の対 応に関する質疑応答(仮題)	休 憩	研修3－テーマ別研究協議 当日テーマを選択し協議 及び情報交換	閉 会 式

※西日本研修会も、同一内容です。

※日程等につきましては、都合により一部を変更することがありますので、その節はご了承下さい。

研修内容・講師・指導員等（日程順・敬称略）

- 研修1. 講演「新学習指導要領の改訂と私学の教育課程に対する期待（仮題）」
講師：梶田 勲（IPU・環太平洋大学学長、学校法人聖ウルスラ学院理事長）

プロフィール

昭和16年（1941年）、島根県松江市生れ。鳥取県米子市で小・中・高校を卒え、昭和39年（1964年）、京都大学文学部哲学科（心理学専攻）を卒業。

昭和46年（1971年）、京都大学より『自己意識の社会心理学的研究』で文学博士。国立教育研究所主任研究官、日本女子大学助教授、大阪大学教授、京都大学教授、京都ノートルダム女子大学学長、などを経て、平成16年（2004年）12月より国立大学法人兵庫教育大学学長。大阪府私学審議会会長・国立教育政策研究所評議員・放送大学番組審議会委員・学校法人聖ウルスラ学院（仙台）理事長・学校法人松徳学院（松江）理事長等を兼務。鳥取県の県政顧問も務める。研究の中心は自己意識心理学であるが、1971年以降シカゴ大学ブルーム教授との出会いを機縁に多面的な教育研究にも精力を注ぐ。

第5期中央教育審議会委員〔文部科学省〕（副会長・初等中等教育分科会長・教員養成部会長・教育課程部会長など）、「全国学力・学習状況調査分析活用専門家会議」座長などを歴任し、現在、IPU・環太平洋大学学長

研修2－質疑応答

テーマ「新学習指導要領と教育課程の対応に関する質疑応答（仮題）」

講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 担当者

講師：山路 進（日本私学教育研究所 主任研究員）

講師：山崎 吉朗（日本私学教育研究所 専任研究員）

講師：大森 隆實（日本私学教育研究所 専任研究員）

※ 午後の質疑応答では、参加する学校から質問を予めいただきます。すぐに回答できる質問内容については研究所の担当者より学校に返答し、内容によっては文部科学省の担当者に問い合わせの上、回答いたします。

これらの質問と回答を整理してまとめ、研修会開催時までには質問と回答を準備いたします。当日、文科省の担当者より、これらの回答について詳しい解説をしていただきます。なお、当日、加えてのご質問もできます。

※ 学習指導要領と私学の教育課程編成に関するご質問は、e-mail（下記のアドレス宛）または、FAXにてお願いいたします。

なお、研修会当日の質問と回答については、質問者の氏名および学校名は掲載いたしません。

質問受付 e-mail : yamaji@shigaku.or.jp FAX 03-3222-1683（山路宛）
締め切り 10月10日（月）必着

研修3. 研究協議－テーマ別研究協議 ※当日テーマを選択し協議及び情報交換

講師：山路 進（日本私学教育研究所 主任研究員）

講師：山崎 吉朗（日本私学教育研究所 専任研究員）

講師：大森 隆實（日本私学教育研究所 専任研究員）

◆参加申込方法

- ①. 参加申込書を、日本私学教育研究所へ郵送または、FAXでお送りください。

【送付先・問い合わせ先】 財団法人日本私学教育研究所 実務者研修係

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683

担当：高山博通 E-mail takayama@shigaku.or.jp

- ・参加申込書は、一人1枚必要事項をご記入ください。複数のご参加の場合はコピーしてください。
- ・参加申込書の記載事項については、本研修以外の目的で利用することはありません。
- ・締切日 平成23年11月2日（水）

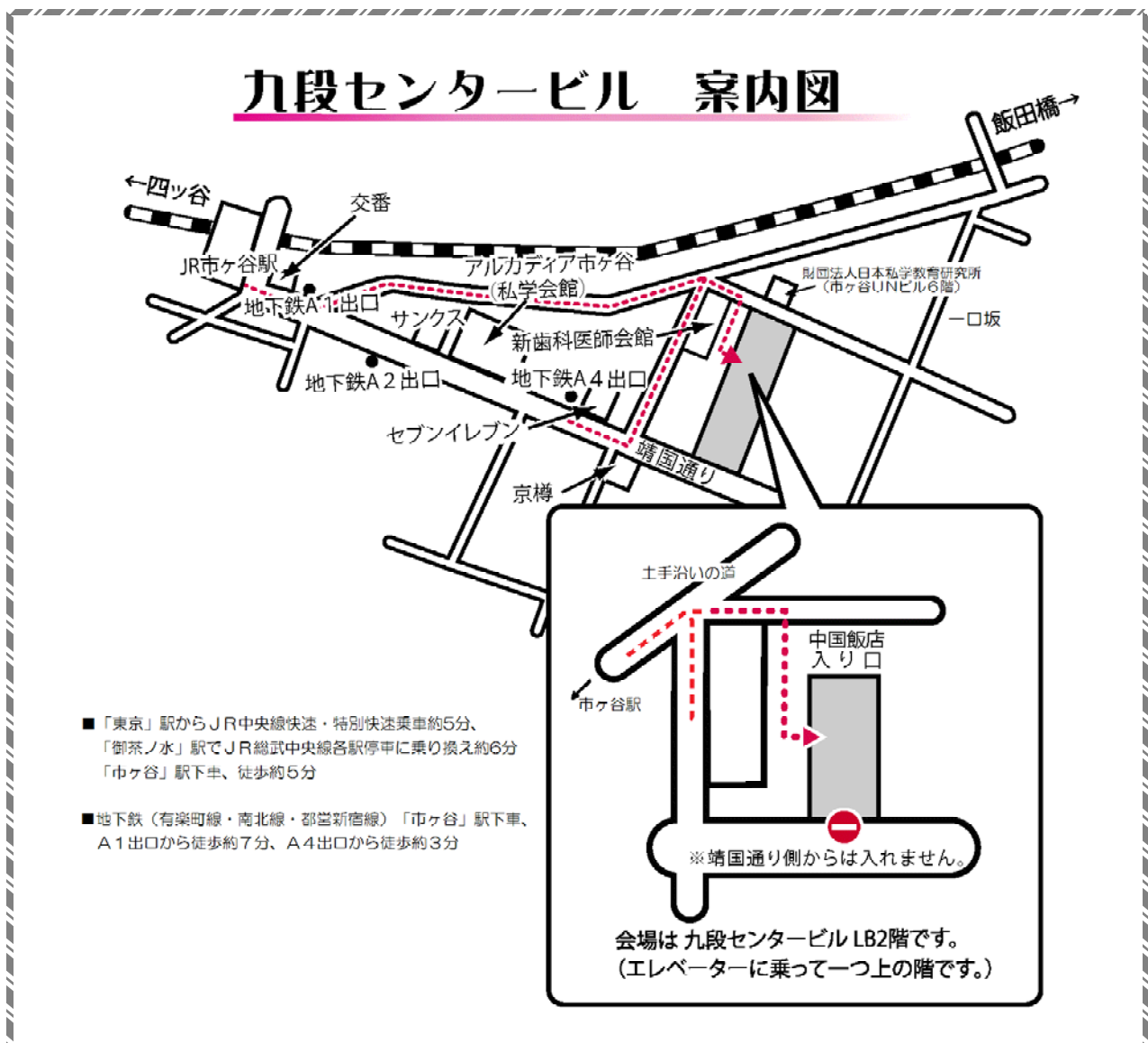
- ②. 参加確認書および指定払込票をご送付いたしますので、参加費を日本私学教育研究所宛てに、送金（振り込み）してください。

- ・参加費 10,000円 [参加会費] (昼食費を含む)
- ・指定払込票の「振替払込金受領証」をもって領収証に代えさせていただきます。
- ・領収証が必要な場合には、別途発行いたしますので、上記「実務者研修係」までご連絡ください。
- ・研修会に不参加の場合、いったん納入された参加費用は、全額返金できないことがあります。また、返金の清算は研修会終了後となりますので、あらかじめご承知おきください。

◆参加に際しての注意

1. 参加確認証 参加確認証は参加者本人が持参して、研修会当日受付にご提示ください。万一、お手元に届かない場合は、標記「実務者研修係」に連絡のうえ、当日その旨を受付にお申し出ください。
2. 来場方法 公共交通機関をご利用下さい。駐車場はございません。

※会場が当初予定していた神奈川県私学会館から下記の九段センタービルに変更になっていますのでご注意ください。



財団法人 日本私学教育研究所

【申込締切日：11月2日（水）】

送付先FAX番号 03-3222-1683

平成23年度 私立学校実務者研修 指導と評価研修会（東日本）
参加申込書

[133-]

都道府県名	学校名		
学校所在地 〒			
		TEL	FAX
ふりがな 参加者氏名	(男 女) (年齢 歳)	緊急連絡先(自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)	
職名	担当教科	校務分掌 (委員会)	
メールアドレス:当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください (携帯電話のメールは不可)			
財団法人 日本私学教育研究所 御中		平成 23 年	月 日
上記の通り申し込みます。			
		学校長氏名	印
【通信欄】			

● 参加費の送金について

- この申込書をお送りいただいた後、参加確認証に同封して指定払込票を送付いたしますので、指定払込票にて送金をお願いいたします。
- 指定払込票の郵便振替払込金受領証をもって領収書にかえさせていただきます。

※太線枠内に必要事項を記入、○印をしてください。記入は一人につき一枚の申込書をお願いします。複数お申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。FAX 又は郵送でお申し込みください。